

平成29年度経営発達支援計画 事業評価結果報告書

1. 評価機関名：産業サポートネットやすぎ 中小企業支援連絡協議会
2. 開催日時：平成30年5月21日（月）14：00～
3. 開催場所：安来商工会議所 会議室
4. 出席者：出席者一覧表のとおり
5. 内容：別紙事業評価書のとおり
6. その他：島根県内において、商工会、商工会議所以外の支援機関が設立されているが、棲み分けをはかりつつ、相互が連携することにより地域の商工業の発展に向け、引き続き伴走型の経営支援を期待するとの意見があった。

おおなん Biz（邑南町しごとづくりセンター）

地元企業や事業者の経営安定・革新及び起業家支援を目的に邑南町が直営で運営する無料相談所。地元経営者や起業家を応援することで地域経済発展につなげ町全体の活性化を目指している。

産業サポートネットやすぎ
第15回 中小企業支援連絡協議会 出席者一覧表

期日：平成30年5月21日（月）14：00～
 会場：安来商工会議所 会議室

組 織 名	役 職 名	氏 名	備 考	出欠
				会議
島根県中小企業団体中央会	連携支援課長	井上 仁		○
公益財団法人しまね産業振興財団 経営支援課	参事	須田 幸男		○
	専門監	野津 研二		○
島根県信用保証協会	保証課長	村上 太政		○
	保証課 主任	黒崎 真実		○
山陰合同銀行安来支店	支店長代理	桑原 渉		○
		岡田 怜		○
島根銀行安来支店	課長	細木 康弘		○
鳥取銀行安来支店	支店長代理	野田 尚宏		○
米子信用金庫安来支店	支店長	末葭 真人		○
日本政策金融公庫松江支店 融資課		田中 僚太		○
島根県商工労働部中小企業課	事業承継推進コーディネーター	廣富 雅昭		○
	企画幹	岡崎 巧		○
	金融グループリーダー	石橋 睦郎		○
島根県事業引継ぎ支援センター	専門相談員	生馬 慎		○
産業サポートネットやすぎ	所長	渡部 仁	安来商工会議所振興課長	○
	担当職員	吉村 武志	安来商工会議所中小企業相談所長	○
	担当職員	亀田 直人	安来商工会議所支援課係長	○
	担当職員	佐藤 雅子	安来市商工会主任経営指導員	○
	担当職員	戸屋 憲吾	安来市商工会経営指導員	○
	担当職員	檜谷 行宏	安来市商工会経営指導員	○
	担当職員	太田 直宏	安来市商工観光課工業振興係長	○
	事務局	佐川 寛明	安来市商工観光課主任主事	○

安来市商工会 平成29年度経営発達支援計画 事業評価書

■総合評価 A:大変効果があった B:まあまあ効果があった C:あまり効果がなかった D:まったく効果がなかった

経営発達支援事業

1. 地域の経済動向調査

総合評価

1. 事業内容

B

① 中小企業景況調査の実施、拡充

本年度は県連に報告している7事業所に加え、独自調査として新たに13事業所を加えた20事業所に対して調査を4回実施した。集計については外部に委託し、その集計結果について、定期的に情報提供を行った。

② 他機関等が実施した調査等の収集、整理、分析

県経済動向調査・日銀山陰の企業短期経済観測調査等を参考にし四半期ごとの管内の経済動向の把握・整理・分析を行い、情報提供すると共に状況を県連へ報告した。

2. 期待する効果をあげるための改善の取組み

定量目標である15件の調査では地域の経済動向、特に事業所の客観的データが取りづらいと判断し独自調査の件数を13件追加し20件(すべての業種を均等に調査)とし、外部にデータ入力・集計及び報告書の作成を委託。県平均・全国平均と比較することにより、地元地域の経済動向を的確に把握することができた。今後はこのデータを蓄積・有効活用することにより、小規模事業者への事業計画策定支援へ結び付けていきたい。

2. 経営状況の分析

総合評価

1. 事業内容

B

内容	目標件数	実績件数	達成率
経営分析件数	20	38	190.0%
経営分析システムによる財務分析	30	20	66.7%

「財務分析」、「製品分析」、「技術ノウハウ」、「組織分析」等の項目について、既定のヒアリングシート及び各経営指導員が独自のツールを持って分析を実施し、各種補助金申請や金融支援等の際に活用した。

2. 期待する効果をあげるための改善の取組み

高度な経営分析を求められる小規模事業者に対しての支援について、公認会計士等の専門家を派遣を実施していく他、統一したヒアリングシートを作成したうえでの分析の実施、更にはネットde記帳を実施している小規模事業者等に対しての財務分析システムの実施、記帳担当職員を指導・支援も含めた総合的な分析支援を行っていく。

3. 事業計画の策定支援

総合評価

1. 事業内容

A

内容	目標件数	実績件数	達成率
セミナー開催	3	4	133.3%
個別相談会	3	4	133.3%
事業計画策定事業者数	20	38	190.0%
創業者支援数	3	2	66.7%
第二創業(経営革新等)支援数	3	3	100.0%

1) 事業計画策定支援

① 販売促進を目的とした戦略的かつ効果的なIT活用セミナーの開催(4回開催、受講者15名)

環境の変化に対応し、足腰の強い経営基盤を構築するため、自社の置かれた経営環境を認識、分析するとともに自社に合致したWEBサイト及びSNS等の利活用及び導入計画を策定することにより、経営力向上を図ることを目的とするセミナーを実施した。

② 計画策定を目指す事業者への支援

専門家による総合的な事業計画策定実施支援を6件実施、小規模事業者持続化補助金等の申請を行うための事業計画策定を38件実施した。

2) 創業・第二創業(経営革新)支援

① 創業者への開業支援

創業者への開業支援として、商業再生支援事業補助金の申請書作成における事業計画の作成支援を実施し、2件が開業した。

② 第二創業(経営革新)への支援

新事業を展開するために、経営革新認定に向けた支援を実施し、経営革新計画1件、経営力向上計画2件が認定された。

2. 期待する効果をあげるための改善の取組み

定量目標について、大きく上回る結果となったが次年度も伴走型小規模事業者支援推進事業等を有効に活用し、ワンストップでの事業計画策定支援を積極的に展開していきたい。

4. 事業計画の実施支援

総合評価

1. 事業内容

A

内容	目標件数	実績件数	達成率
フォローアップ件数	20	24	120.0%

1) 事業計画実施支援

事業計画策定を実施した事業所については専門家による指導助言や経営指導員による進捗状況の確認を実施、効果的なフォローアップを実施し、各種補助金や金融支援や産業サポートネットやすぎの支援等を有効活用した。

2) 創業・第二創業(経営革新)支援

創業者へは定期的な業況把握に加え各種補助金等への申請支援を実施、第二創業者には継続的な巡回を実施し、新規事業の進捗確認するとともに補助金実績報告書の作成支援等、伴走型の支援を実施した。

2. 期待する効果をあげるための改善の取組み

定期的かつ継続的な巡回支援を実施し事業計画実施状況を確認していくとともに、計画どおり進んでいない事業者に対しては、引き続き専門家派遣制度による指導・助言を行うとともに、必要に応じて金融支援等を実施していく。

5. 需要動向調査

総合評価

1. 事業内容

内容	目標件数	実績件数	達成率
需要動向調査の実施	4	2	50.0%

C

①事業者の販売商品・提供役務の需要動向に関する情報の収集、整理、分析

昨年度導入した業種別審査辞典(第13次)DVD辞典の経営指標を活用し経営分析を実施。また、小規模事業者持続化補助金等の申請書作成時に地域の市場動向を調査するため、各種新聞・日経テレコンPOS情報・インターネットを活用し需要動向の分析を行ったが、定期的な調査の実施及び広報等による小規模事業者への情報提供が十分ではなく定量目標に至らなかった。

②商勢圏実態調査(買い物調査)による需要動向に関する情報の収集、整理、分析

平成29年度は調査実施年でないことから未実施、次年度以降実施予定(3年に一度)

2. 期待する効果をあげるための改善の取組み

各種新聞・日経テレコンPOS情報・インターネットを活用し、業種ごとの需要動向を取り纏め、その調査結果を4半期ごとに小規模事業者に広報等を通じて情報提供する仕組みを検討する。(定量目標 調査回数4回)

6. 新たな需要の開拓に寄与する事業

総合評価

1. 事業内容

内容	目標件数	実績件数	達成率
商談会展示会促進プログラム	6	4	66.7%
パッケージデザイン	2	3	150.0%
夢追人支援事業	0	1	
合計	10	8	80.0%

B

①産業サポートネットやすぎと連携した域外マネー獲得・拡大に向けた支援

産業サポートネットやすぎを活用した販路開拓等支援に係る実施件数について、夢追人支援事業1件、パッケージデザイン作成支援3件、展示会出展促進プログラム4件について申請を行い、実施まで至った。

②物産展等への出店に関わる支援

しまねふるさとフェア、広瀬の味と伝統工芸展それぞれの出店支援を行った。

2. 期待する効果をあげるための改善の取組み

引き続き産業サポートネットやすぎの支援事業について、事業者へ対して情報提供を行い、事業計画策定を実施した小規模事業者の支援ツールとして大いに活用してもらえよう、情報提供及び提案を行っていく。

地域経済の活性化に資する取組み

1. 事業内容

総合評価

①会員事業所が参画したイベント事業の実施

展示会名:やすぎであらエッサ! 広瀬・伯太産業フェア2017 開催日:平成29年10月22日(日)10:00~15:00

会場:安来市古川町「安来節演芸館」屋外及び屋内

出展事業者:25事業所(内訳 製造業:8事業所 建設業:6事業所 小売業:5事業所 サービス業:6事業所)

出展内容:展示即売18事業所 企業PR6事業所 企業体験10事業所(延べ数)

売上実績:当日販売実績(530,000円 概算 企業体験・体験料含)

来場者数:約500名(うち企業体験申込158名)内容:特産品等販売、企業紹介・PR、商品展示、企業体験(職人体験)等

②「やすぎ莓一縁プロジェクト女子会」、「安来まちゼミ」への参画

職員がメンバーとして事業運営に参画、協力し、各種イベントのPR、情報発信等を行った。

2. 期待する効果をあげるための改善の取組み

販路開拓を行う際の課題として「販売すべきターゲットの選定」や「商品・サービスのPR」等があげられている。「販売すべきターゲットの選定」については経営状況の分析や事業計画策定支援、補助金等の活用も視野に入れて対応する計画である。一方「商品・サービスのPR」については地域産品の展示即売会での対応が有効な手段であるため、優れた伝統工芸や製品を持つ事業者を一堂に集め、その技術や製品を作る体験を通じて対外的にPRを行っていく。併せて、展示即売会を実施し、自社商品の販売を通じて販路拡大の取組みを支援する。

支援能力向上のための取組み

1. 支援ノウハウの情報交換、経営指導員等の資質向上

総合評価

各種研修会等へ参加し、情報交換及び資質向上に取り組んでいるが、職員相互の情報共有を深めるまでは至らなかった。

2. 事業評価及び見直しをするための仕組み

B

外部有識者による事業評価において意見を聞き、総務委員会において評価・見直し方針について決定した。毎週開催する職員会議、経営支援会議において、事業進捗の状況把握を行うと共に円滑な事業推進をはかった。